

令和6年度 予算要求状況について

◎予算要求額

1. 要求総額（一般会計＋特別会計）

歳入	454億9,190万円	+4.8%（前年度当初予算比）
歳出	485億5,036万円	+11.8%（前年度当初予算比）
財源不足額	30億5,846万円	8億5,727万円（前年度当初要求時比）

令和6年度予算の要求は、あらゆる分野で物価高騰の影響を受け、さらに大型事業の実施が重なり、予算要求段階での収支ギャップは、30億5,846万円（前年度当初要求時収支ギャップは22億119万円）に広がりました。

自主財源である市税は、物価上昇の影響を勘案し、法人市民税の減収を見込んでいます。また、3年に1度の評価替えに伴う固定資産税（家屋）の減収と合わせると、市税全体で0.8%程度の減収を見込んでいます。一方、学校施設環境改善交付金（小中一貫校分）、社会資本整備総合交付金（道路整備分）、保育所等整備交付金などの国庫支出金の増（+29.2%）により、歳入予算全体では、454億9,190万円と前年度当初予算より20億8,090万円（+4.8%）の増額要求となりました。

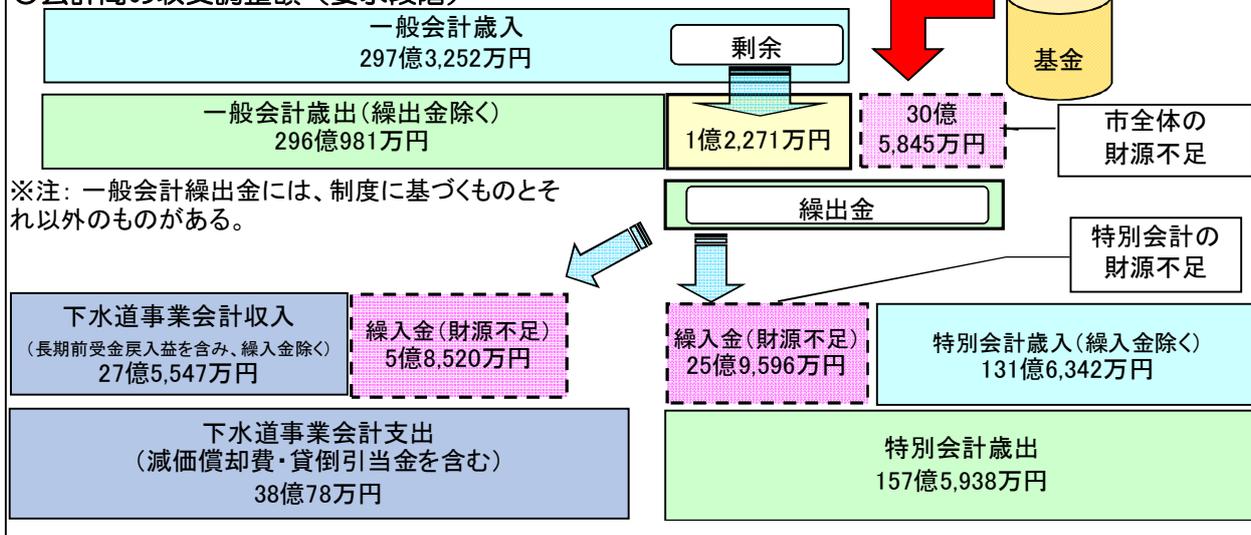
歳出では、小中一貫校施設整備事業、森林公園リニューアル事業、市道第1-380号線（佐貫3号線）整備事業や新保健福祉施設建設事業の大型普通建設事業の実施に加え、障がい者自立支援給付事業をはじめとした社会保障関係経費の増により、歳出予算全体では、485億5,036万円と前年度当初予算より51億3,936万円（+11.8%）の増額要求となりました。

2. 会計別要求状況

（単位：千円）

会計名	令和6年度要求額		令和5年度当初予算額	対前年度当初予算比		同増減率(%)	
	歳入	歳出		歳入	歳出	歳入	歳出
一般会計	29,732,522	32,790,973	27,770,000	1,962,522	5,020,973	7.1	18.1
国民健康保険事業特別会計	7,179,000	7,179,000	7,598,000	△ 419,000	△ 419,000	△ 5.5	△ 5.5
介護保険事業特別会計	6,388,081	6,388,081	5,970,000	418,081	418,081	7.0	7.0
児童発達支援事業特別会計	102,301	102,301	88,000	14,301	14,301	16.3	16.3
後期高齢者医療事業特別会計	2,090,000	2,090,000	1,985,000	105,000	105,000	5.3	5.3
特別会計 合計	15,759,382	15,759,382	15,641,000	118,382	118,382	0.8	0.8
総計	45,491,904	48,550,355	43,411,000	2,080,904	5,139,355	4.8	11.8
下水道事業会計	収入予定額	3,340,664	3,259,717	80,947		2.5	
	支出予定額		3,800,776	3,723,196	77,580		2.1

○会計間の収支調整額（要求段階）



◎会計間の収支ギャップ調整の仕組み

1. 会計

区分	一般会計(繰出前)		特別会計(繰入前)		下水道事業会計(繰入前)	
歳入	297億3,252万円	+9.6%	131億6,342万円	△1.3%	16億6,252万円	△2.2%
歳出	296億 981万円	+12.5%	157億5,938万円	△0.6%	22億4,730万円	+2.9%
財源不足額	+1億2,271万円		25億9,596万円		5億8,478万円	

※注:財源不足欄の+は、黒字。増減率は、前年度当初要求時比。

※注:下水道事業会計は収入・支出からそれぞれ長期前受金戻入益と減価償却費・貸倒引当金を除いた額。

2. 特別会計等繰入金要求状況(一般会計による補てん必要額)

(単位:千円)

会計名	令和6年度 要求額	令和5年度 当初予算額	対前年度 当初予算比	同増減率 (%)
国民健康保険事業特別会計	478,475	497,368	△ 18,893	△ 3.8
介護保険事業特別会計	1,016,471	956,441	60,030	6.3
児童発達支援事業特別会計	68,528	70,085	△ 1,557	△ 2.2
後期高齢者医療事業特別会計	1,032,491	969,302	63,189	6.5
特別会計 合計	2,595,965	2,493,196	102,769	4.1
下水道事業会計	585,197	469,913	115,284	24.5

◎今後の予算編成作業

予算要求段階での財源不足額は、総額30億5,846万円です。要求内容を精査し、事業効果・緊急性などを勘案した事業の厳選等によって歳出予算を削減するとともに、歳入を確保して、財源不足額の解消に最大限努力します。

なお、令和6年度政府予算案が未定のため、予算要求はおおむね現行制度に基づくものです。最新情報の収集に努め、今後の予算編成過程で弾力的に対応します。

また、令和5年1月から計画期間となっている、当市の最上位計画「龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030」に掲げる戦略に沿って展開する目標の実現に向け、具体的に推進していく施策に関連する事業については優先的に財源を配分し、その実効性を担保します。

前期基本計画におけるリーディングプロジェクト

- ◆未来創造プロジェクト～子どもの笑顔が続くまちを創る～
- ◆魅力創造プロジェクト～もっと魅力が感じられるまちを創る～
- ◆幸せ創造プロジェクト～日常を豊かに、快適に過ごせるまちを創る～

